



## 平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年5月7日

上場取引所 東

上場会社名 オークファン

コード番号 3674 URL <http://www.aucfan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 武永 修一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 濱田 淳二

TEL 03-6809-0951

四半期報告書提出予定日 平成25年5月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年9月期第2四半期の業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	354	—	154	—	148	—	99	—
24年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年9月期第2四半期	71.09	—
24年9月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 平成24年9月期第2四半期につきましては、四半期財務諸表を作成していないため、平成24年9月期第2四半期の数値及び平成25年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、平成25年9月期第2四半期において当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。  
 3. 当社は平成24年12月20日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年1月15日付で普通株式1株につき500株の割合で株式分割を行っておりますが、当該株式分割が平成25年9月期の期首に行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
25年9月期第2四半期	784	—	646	—	82.2	—
24年9月期	640	—	470	—	73.0	—

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 644百万円 24年9月期 467百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年9月期の業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	716	15.6	299	48.5	289	44.0	193	92.0	122.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成25年9月期の業績予想の1株当たり当期純利益は公募株式数(242,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロトメントによる売出しに関する第三者割当増資分(最大48,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年9月期2Q	1,521,500 株	24年9月期	2,738 株
----------	-------------	--------	---------

② 期末自己株式数

25年9月期2Q	— 株	24年9月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期2Q	1,405,909 株	24年9月期2Q	— 株
----------	-------------	----------	-----

※平成25年1月15日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っておりますが、当該株式分割が平成25年9月期の期首に行われたと仮定して、期末発行済株式数と期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
(6) 重要な後発事象 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国の経済状況は、昨年12月の総選挙の結果、政権交代が実現し、安倍政権の発足による通称「アベノミクス」と呼ばれる経済政策への期待から急激な円高の修正及び株価の上昇傾向が現れ、デフレ脱却と景気回復への期待感が高まっております。しかしながら、欧州債務問題や中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化など、景気下押しリスクも存在し、また今後においては各種増税や保険料負担増加等の動向により、消費の先行きにも不透明感が残る状況が続きました。

当社を取り巻くインターネット関連市場につきましては、スマートフォンやタブレット端末の需要が好調に推移していることに後押しされ、インターネット利用人口及び接触時間は継続的に増加しております。平成24年12月末時点のブロードバンドサービスの契約数は5,359.1万回線（前期比15.2%増）と増加が続いており、中でも、3.9世代携帯電話パケット通信サービスの契約数は1,362.8万回線（前期比87.0%増）、無線ブロードバンドサービスであるWiMAXに代表されるBWA（広帯域移動無線アクセスシステム）の契約数は465.9万回線（前期比16.1%増）と大幅に増加しております（出所：総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表（平成24年度第3四半期（12月末））」）。

このような事業環境のもと、当社は主力のインターネットメディア事業の拡大に向け、その中核を成す「オークファン」において、ユーザー数の拡大、収益基盤の確立・強化に取り組んでまいりました。

ユーザー数の拡大に向けては、サイトリニューアルやSEO対策、プロモーション施策などユーザー数増加施策に注力しました。

一方、収益基盤の確立・強化に向けては、サービス課金収入の売上増加による収益基盤の多様化及び安定性向上に努めてまいりました。平成23年11月から開始した「オークファンプロ」では、順調に会員数が増加しており、収益基盤の多様化に貢献しております。また、スマートフォンへの対応を進めると共に、世界のEマーケットプレイスの一括検索「グローバルオークファン」を開始しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は354,614千円、営業利益は154,260千円、経常利益は148,421千円、四半期純利益は99,951千円となりました。

なお、平成25年4月25日付にて、東京証券取引所マザーズ市場へ上場いたしました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて、78,539千円増加し、513,677千円となりました。これは主として、現金及び預金が68,356千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて、65,213千円増加し、270,713千円となりました。これは主として、有形固定資産が15,650千円、ソフトウェアが36,782千円及び投資その他の資産が12,843千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて、143,752千円増加し、784,390千円となりました。

##### (負債)

負債は、前事業年度末に比べて、32,351千円減少し、137,525千円となりました。これは主として未払金が27,080千円減少したことによるものであります。

##### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて、176,103千円増加し、646,865千円となりました。これは主として、新株予約権行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ38,566千円及び38,436千円増加したこと、また四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の額が99,951千円増加したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は前事業年度末より68,356千円増加し、407,040千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期純利益174,285千円、減価償却費24,834千円、法人税等の支払額70,516千円などにより、営業活動の結果獲得した資金は41,508千円となりました。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出7,467千円、無形固定資産の取得による支出53,798千円などにより、投資活動の結果使用した資金は49,855千円となりました。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

株式の発行による収入76,250千円により、財務活動の結果獲得した資金は76,250千円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年4月25日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合は、すみやかに開示を行います。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	338,683	407,040
売掛金	82,015	91,744
貯蔵品	1,092	1,143
その他	14,562	15,475
貸倒引当金	△1,216	△1,727
流動資産合計	435,137	513,677
固定資産		
有形固定資産	22,575	38,225
無形固定資産		
ソフトウェア	112,393	149,175
のれん	531	421
その他	23,012	23,059
無形固定資産合計	135,937	172,657
投資その他の資産	46,987	59,830
固定資産合計	205,500	270,713
資産合計	640,637	784,390
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,835	6,516
未払金	63,798	36,718
未払法人税等	69,331	75,406
役員賞与引当金	13,000	—
その他	17,910	18,884
流動負債合計	169,876	137,525
負債合計	169,876	137,525
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	176,119	214,686
資本剰余金	180,012	218,449
利益剰余金	111,671	211,622
株主資本合計	467,803	644,758
新株予約権	2,957	2,106
純資産合計	470,761	646,865
負債純資産合計	640,637	784,390

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	354,614
売上原価	46,414
売上総利益	308,199
販売費及び一般管理費	153,939
営業利益	154,260
営業外収益	
為替差益	491
受取利息	38
その他	110
営業外収益合計	640
営業外費用	
株式公開費用	6,479
営業外費用合計	6,479
経常利益	148,421
特別利益	
投資有価証券売却益	26,400
新株予約権戻入益	71
特別利益合計	26,471
特別損失	
本社移転費用	608
特別損失合計	608
税引前四半期純利益	174,285
法人税、住民税及び事業税	76,390
法人税等調整額	△2,056
法人税等合計	74,334
四半期純利益	99,951

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	174,285
減価償却費	24,834
のれん償却額	109
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	511
受取利息及び受取配当金	△38
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,000
投資有価証券売却損益	△26,400
新株予約権戻入益	△71
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,728
仕入債務の増減額 (△は減少)	681
未払金の増減額 (△は減少)	△43,128
その他	3,931
小計	111,987
利息及び配当金の受取額	38
法人税等の支払額	△70,516
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,508
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△7,467
無形固定資産の取得による支出	△53,798
その他	11,410
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,855
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	76,250
財務活動によるキャッシュ・フロー	76,250
現金及び現金同等物に係る換算差額	453
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	68,356
現金及び現金同等物の期首残高	338,683
現金及び現金同等物の四半期末残高	407,040



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(新株式の発行)

当社は、平成25年3月22日付で株式会社東京証券取引所から上場承認を受け、平成25年4月25日に同取引所マザーズ市場に上場いたしました。この上場にあたり、平成25年3月22日及び平成25年4月9日開催の当社取締役会において、下記の通り新株式の発行を決議し、平成25年4月24日に払込が完了いたしました。

この結果、資本金は504,118千円、発行済株式総数は1,763,500株となりました。

(1) 募集株式数

普通株式 242,000株

(2) 発行価額

1株当たり2,600円

(3) 引受価額

1株当たり2,392円

(4) 資本組入額

1株当たり1,196円

(5) 引受価額の総額

578,864千円

(6) 増加する資本金の額

289,432千円

(7) 増加する資本準備金の額

289,432千円

(8) 払込期日

平成25年4月24日

(9) 資金の用途

データ・ユーザー数増加のためのサーバー機等購入資金

サイト機能向上のためのソフトウェア開発における設備投資資金

人員増加に伴う本社事務所の移転・増床における設備投資資金

事業拡大に伴う人材採用費等の運転資金